

令和3年度

No 3 6月18日

松 籾



発行者  
穴水秀人

## 進化するネットの世界

6月4日(金)山梨日日新聞の記事を紹介したいと思います。「私も言いたい」『10代の意見』に掲載されていた高校生の思いです。

最近、インターネット関係の問題が多発するようになってきている。インターネットが使われ始めたのは決して最近ではないのに、どうしてだろうか。私はこのことをテーマにして論じていこうと思う。インターネットが使われ始めたのは、1969年のことだ。そこからたった50年で、今の機能まで進化してきた。それなのに、今日使いこなせていないのは、人間の知能が追い抜かれてしまったからではないのかと私は思う。 ~~~中略~~~ 私がインターネットに追い抜かれてしまっていると思うのは、人間がインターネットに支配されているように感じるからである。 例えば「スマホが壊れていて何も調べられないし何もできない。」というよく聞くこの言葉。なぜインターネットがないだけで何もできないのか。これは、インターネットが人間の進むべき道をつくってくれるのを待っているのと同じだろう。このように、今日インターネットと人間の立場は逆転しつつある。力が劣る者が勝る者をうまく扱えるわけがない。だから問題を起こしてしまうのだ。解決するには、人間が進化するしかないと私は思う。

インターネットの一般家庭への普及とほぼ同時期に「SNS」という即時性があり双方向でやり取りができるサービスが登場しました。1990年代後半です。しかし、現在のようなコミュニケーションの道具として定着したのは、2006年に開始された『Twitter』と『Facebook』などのサービスと2007年に発売された『スマートフォン』の存在が非常に大きいのではないのでしょうか。「SNS」と「スマートフォン」により不特定多数が参加でき、拡散力の高い情報交換の場を簡単につくることができます。つまり、誰もが情報発信者であり同時に受信者となることができます。その結果、私たちの生活や世の中の仕組みが大きく変わりました。当然それには、良い面も悪い面もあると思います。

話は変わり、本校のGIGAへの取り組みの様子を紹介します。生徒一人ひとりが毎朝タブレットを利用するようになって1か月余りとなりましたが、どうやら本来の目的とは程遠いインターネットゲームを楽しんでいる生徒が出てきたようです。この状況を受け、10日(木)の全校一斉学級活動において「タブレット利用の在るべき姿」について話し合いました。ダメだと分かっているけどやめられないという、ある意味ゲームに支配されていなければいいなと思うばかりです。上記の高校生が言う「人間が進化する」とはいったいどういうことなのでしょう。今一度、冷静にタブレットと向き合ってみてはどうですか。